

1 サンヤク

2 確認試験の項を次のように改める。

3 確認試験

- 4 (1) 本品の切面に希ヨウ素試液を滴加するとき、暗青色を
5 呈する。
- 6 (2) 本品の粉末0.2 gに無水酢酸2 mLを加え、水浴上で2
7 分間加熱した後、ろ過する。ろ液1 mLに硫酸0.5 mLを穏や
8 かに加えるとき、境界面は赤褐色～紫褐色を呈する。
- 9 (3) 本品の粉末1 gにメタノール/水混液(4 : 1) 4 mLを加
10 え、10分間振り混ぜた後、遠心分離し、上澄液を試料溶液
11 とする。別に薄層クロマトグラフィー用アラントイン1 mg
12 をメタノール/水混液(4 : 1) 2 mLに溶かし、標準溶液とす
13 る。これらの液につき、薄層クロマトグラフィー (2.03) に
14 より試験を行う。試料溶液5 μ L及び標準溶液2 μ Lを薄層ク
15 ロマトグラフィー用シリカゲルを用いて調製した薄層板にス
16 ポットする。次に酢酸エチル/メタノール/水混液(7 : 3 :
17 1)を展開溶媒として約7 cm展開した後、薄層板を風乾する。
18 これに4-ジメチルアミノシンナムアルデヒド0.2 gを6
19 mol/L塩酸試液10 mL及びエタノール(99.5) 10 mLに溶かし
20 た液を均等に噴霧し、105 $^{\circ}$ Cで2分間加熱するとき、試料溶
21 液から得た数個のスポットのうち1個のスポットは、標準溶
22 液から得た淡赤色のスポットと色調及び R_f 値が等しい。

23 -----

24 9. 41 試薬・試液の項に次を追加する。

- 25 アラントイン、薄層クロマトグラフィー用 $C_4H_6N_4O_3$ 本品
26 は白色の結晶性の粉末又は粉末で、水に溶けにくく、メタノ
27 ール又はエタノール(99.5)にほとんど溶けない。
- 28 確認試験 本品につき、赤外吸収スペクトル測定法 (2.25)
29 の臭化カリウム錠剤法により測定するとき、波数3440 cm^{-1} ,
30 3340 cm^{-1} , 1721 cm^{-1} , 1532 cm^{-1} 及び1061 cm^{-1} 付近に吸収
31 を認める。
- 32 純度試験 類縁物質 本品2 mgを水1 mLに加熱して溶かし
33 た後、メタノール2 mLを加えた液5 μ Lにつき、「サンヤク」
34 の確認試験(3)を準用して試験を行うとき、 R_f 値約0.5の
35 主スポット以外のスポットを認めない。

36
37
38